

あさの け ちゅう す わ
安芸国広島浅野家家中 諏訪家文書 仮目録

(請求記号 200005)

平成 19 年(2007)7 月

広島県立文書館

凡 例

1 本目録には、安芸国広島浅野家家中 諏訪家文書を掲載した。

2 目録の各項目は以下のとおり。

請求番号 本文書群の群番号(200005)と、この項目の記号
を組み合わせたものが請求記号になる。

【例】 4/1 200005/4/1

表 題 資料に原表題のあるものはそのまま採り、ないものは適宜付与し〔 〕書きで表記した。内容等で補記すべきものがあれば()で補った。

年 代 資料表題に記された作成年月日を使った。

作 成 資料に授受関係のあるものは で結んで表記した。

形 態 資料の形態を記した。(美)は美濃判、(半)は半紙判、(奉)は奉書紙を、(色美)は広島藩で公用紙として使われていた赤色美濃紙を、それぞれ表わす。また、必要に応じて印字の形態/手法を()で補記した。

数 量 資料の点数を記した。

3 文書の排列は請求記号順とした。

4 利用の参考のため、本文書群の概要を冒頭に付した。

5 本目録で使用している日本語文字のうち、JIS 規格(JIS X 0208, 1997)に含まれないものは、① など丸付き数字である。

これは、特別な方法で表示を実現したものなので、文字として検索すること、および、テキストとして抽出することはできない。本ファイルの利用にあたっては、その点に留意されたい。

【文書群概要】

あきのくに ひろしまあさの け ちゆう す わ
安芸国広島浅野家家中 諏訪家文書 (請求記号 200005)

広島藩士諏訪家に伝来した武家文書。

出 所 諏訪家

出所地名 安芸国広島城下 / 広島市古田町 / 広島市西区 [現在地名]

役職等 広島藩士

分 量 22点 (5冊 ,13通 ,3包 ,1綴) / データ数37件

収蔵までの経緯 平成12年(2000)7月22日に原蔵者より寄託。

年 代 元禄13年(1700)~昭和8年(1933)

歴 史 諏訪氏は広島藩士岡田氏より分かれた家で、岡田半大夫充常の三男嘉平太方輔が、元禄14年(1701)に別家として諏訪姓を称したのに始まる。以後、広島藩士として、隼太方高、半外方孟、民次郎方盛、吉之丞(諱不詳)、直太郎方六、忠蔵と続き、直太郎方六のとき明治維新を迎えた。

内 容 本文書群に含まれる文書の大半は、元禄13年(1700)から慶応3年(1867)までの知行宛行目録・配知目録である。それ以外には、若干の系譜、身上書の類、役目関係の起請文、および、諏訪忠蔵の作成収受した文書類が残されている。

検索手段 「広島県立文書館収蔵文書仮目録」

(2000.10.12 記述 / 長沢 洋)

(2001. 1.22 改訂 / 長沢 洋)

番号	表題	年代	作成	形態・数量
1	諏訪方盛統系図伝記 方輔より方盛までの系図。1~3は、もと同じ封筒に入れられる。封筒の上書(マジックインキ)は「⑤方盛(民次郎)」とあり。	(享和2年以降)	(諏訪方盛)	仮縦冊・1冊(6丁)
2	用人申達書(代官仰付につき誓詞差出の件)	(文化11)11.17	寺西監物・竜神甚大夫 民次郎殿	切継紙(色美)・1通
3	[縁組願聞届書]			切紙(奉)・1通
4	[誓文・祭文包入]			包・1包(4通)
4/1	○誓詞前書之事	安政2.	(諏訪吉之丞カ) 生田筑後殿・浅野若狭殿・藤田兵庫殿・武田正之助殿	縦継紙(美・牛王宝印)・(1通)
4/2	○御祭文(二葉山藩祖臨時祭)	慶応4.7.28	(浅野長訓・浅野長勲)	縦紙(奉) 彫/摺)・(1通)
4/3	○[浅野内記・同式部誓文および藩士誓文]	慶応4.7.28		縦紙(奉) 彫/摺)・(1通)
4/4	○[浅野長訓・同長勲誓文]	慶応4.7.28	(浅野長訓・浅野長勲)	縦紙(奉) 彫/摺)・(1通)
5	[贈位者遺族ノ儀二付御願綴] 5~9は、もと同じ封筒に入れられる。封筒表にマジックインキで中身の文書名を記す。	昭和7.9.24		綴・1綴(3通)
5/1	○贈位者遺族ノ儀二付御願控(贈位者遺族の調査願)	昭和7.9.24	岡田喜久蔵・諏訪忠蔵・岡田万之助3名総代諏訪忠蔵 岐阜県知事宮脇梅吉殿	罫紙・(1通)
5/2	○贈位者遺族ノ儀二付御願(贈位者遺族の調査願)	昭和7.8.17	岡田喜久蔵・諏訪忠蔵・岡田万之助3名総代諏訪忠蔵 愛知県知事殿	罫紙・(1通)
5/3	○贈位ノ件二付追願	昭和7.8.19	諏訪忠蔵 愛知県知事殿	罫紙・(1通)
6	書簡(系譜・現況等につき返答) 「岡田系譜」を同封。	昭和7.10.11	千葉県山武郡豊成村岡田政武 諏訪忠蔵様	封筒入(手書/ペン書)・1通
7	諏訪氏系譜	昭和8.正.	八世諏訪忠蔵手記	縦冊(半) 手書/ガリ版)・1冊(10丁)
8	相続願(諏訪方六長男忠造へ金録下賜願) 2丁めに区長片山績の奥書(広島県令藤井勉三宛,7月2日付)および、朱書の聞届書(8月14日付)あり。	明治10.6.28	親類高間弥之助・親類浅野新吾・石河真造	仮冊(半)・1冊(2丁)
9	書簡(死期の間近いこと)		諏訪忠蔵 阪田せい様	封筒入・1通
10	配知目録(210石) 包紙あり。包紙上書「配知目録巻通 諏訪豊次郎殿」10,11は、もと同じ封筒に入れられる。封筒の上書(マジックインキ)は「④代 方孟(豊次郎)」	安永4.3.朔	西川与四郎・林甚左衛門・川崎鹿之助・竜神甚大夫 諏訪豊次郎殿	縦継紙(奉)・1通
11	諏訪半外方孟一代記			仮縦冊(半)・1冊(4丁)
12	知行宛行目録包 包紙上書「諏訪民次郎とのへ」もと入っていた封筒の上書(マジックインキ)は「⑤代 方盛(民次郎)」	享和2.~天保10. (各通の年代)		包・1包(6通)
12/1	○知行宛行目録(150石)	享和2.2.15	浅野斉賢 諏訪民次郎とのへ	縦継紙(奉)・(1通)
12/2	○知行宛行目録(150石)	文政3.2.27	浅野斉賢 諏訪民次郎とのへ	縦継紙(奉)・(1通)
12/3	○知行宛行目録(加増30石)	文政9.2.朔	浅野斉賢 諏訪民次郎とのへ	縦継紙(奉)・(1通)
12/4	○知行宛行目録(加増30石)	文政13.2.朔	浅野斉賢 諏訪民次郎とのへ	縦継紙(奉)・(1通)
12/5	○知行宛行目録(210石)	天保9.2.28	浅野斉肅 諏訪民次郎とのへ	縦継紙(奉)・(1通)
12/6	○知行宛行目録(加増50石)	天保13.2.朔	浅野斉肅 諏訪民次郎とのへ	縦継紙(奉)・(1通)
13	知行宛行目録(210石) 包紙あり。包紙上書「諏訪吉之丞とのへ」13,14は、もと同じ封筒に入れられる。封筒の上書(マジックインキ)は「⑥代 ナシ 某(吉之丞)」	安政7.2.28	浅野茂長 諏訪吉之丞とのへ	縦継紙(奉)・1通
14	配知目録(210石) 包紙あり。包紙上書「配知目録巻通 諏訪吉之丞殿」	嘉永2.2.15	佐々木久左衛門・湯川守衛・永田数登・中井出衛・小池源六・横山十介 諏訪吉之丞殿	縦継紙(奉)・1通

番号	表 題	年 代	作 成	形態・数量
15	配知目録(170石) 包紙あり。包紙上書「配知目録 忝通 諏訪直太郎」も と入っていた封筒の上書(マジックインキ)は「⑦代 ナシ 方六(直太郎)」	慶応3.2.27	三宅又一・津村亀次郎・小笠 原岩次郎・満田九郎左衛門・ 西本清介 諏訪直太郎殿	縦継紙(奉)・1通
16	知行宛行目録(加増400石) 包紙あり。包紙上書「諏訪嘉平太とのへ」この包紙の本来の中身は18か。もと入っていた封筒の上書(マ ジックインキ)は「方輔の兄 岡田充昭(半太夫)」	元禄13.正.21	浅野綱長 岡田半大夫とのへ	縦継紙(奉)・1通
17	知行宛行目録(300石) 包紙あり。包紙上書「諏訪隼太とのへ」17~19は,もと同じ封筒に入れられる。封筒の上書(マジックイン キ)は「③代 方高(隼太)」	明和3.正.28	浅野重晟 諏訪隼太とのへ	縦継紙(奉)・1通
18	知行宛行目録(加増100石,分知100石,享保13.正.21 都合300石) 分知100石分の別紙あり。包紙あり。包紙上書「諏訪隼太とのへ」この包紙の本来の中身は20/2か。	享保13.正.21	浅野吉長 諏訪嘉平太とのへ	縦紙(奉)・1通
19	身上記 内容は,諏訪隼太が家督相続以降に勤めた役目に関する記録。記載年代は寛保3年7月~寛延4年7月。	寛保3.7.朔	諏訪隼太方高	横半(美)・1冊(5丁)
20	知行宛行目録包 包紙上書「諏訪嘉平太とのへ」20~ 22は,もと同じ封筒に入れられる。封 筒の上書(マジックインキ)は「②代 方輔」	宝永7.・宝暦7. (各通の年代)		包・1包(2通)
20/1	○知行宛行目録(200石) 端裏に「ほノ十七」と書いた貼紙あり。	宝永7.2.15	浅野吉長 諏訪嘉平太とのへ	縦紙(奉)・(1通)
20/2	○知行宛行目録(300石) 本来は18の包紙に包まれていたものか。	宝暦7.6.21	浅野宗恒 諏訪隼太とのへ	縦継紙(奉)・(1通)
21	〔諏訪嘉平太姓名先祖ほか身上書付〕 端裏に「享保十年己巳七月 公儀江差出扣 諏訪嘉平太」とあり。記載内容は,家紋,知行高,生国,本国, 本姓,諱,年齢,先祖等。	享保10.7.	諏訪嘉平太	縦切紙・1通
22	〔岡田半大夫・諏訪嘉平太履歴書付〕			折紙(美)・1通